

(3)

重動

# 知・技の ものつくり 大学発 創造倉庫

▷98◁

■教養教育センターからの  
発信

2022年1月7日の「知・技の創造」に「新しい教養教育の取り組み」として、同様に4月から始動する「ものづくり大学」の新しい教養教育の記事を掲載しました。今回は、教養教育センターが取り組んできた活動について紹介します。前回紹介したものづくり系科目群、ひとづくり系科目群、リベラルアーツ系科目群の教養教育科目は順調に展開しています。

22年11月24日に、第1回教養教育センター特別講演を本学で行いました。スペシャルゲストとして、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授の柳瀬博一氏をお招きし、「テクノロジストのための教養教育」についてお話を頂き、その後に教養教育センター教員によるパネルディスカッションを行いました。教養教育につける熱い思いを学生に感じ、教養教育のキーワード

教養教育センター特別講演を渋谷で行いました。会場は渋谷スクランブルスクエア15階の「SHIBUYA QWS」で、日立アカデミーとの共催、ドラッカーカー学会の協賛で行いました。特別講演は、日立製作所名譽フェロー、脳科学研

の山本ミツシェール氏をお招きし、パネルディスカッションでは本教養教育センター

## 新しい教養教育の展開

澤本 武博 建設学科教授

として土居浩教授は「廣き続ける」、井坂康志教授は「無き続ける」、町田由徳准教授を認める、「視野を広げる」、土井香乙里講師は「こころん学ぶ」を挙げていました。ちなみに私は「本物を知る」です。23年11月9日には、第2回キャラスター・ジャーナリスト記念講座

研究で著名な小泉英明氏に、「脳の基本構造を知り、学びたい」という想いを抱いていました。

教養教育センターでは、ヨンの根源を知るについてのつくり研究情報センターへお話を頂きました。鼎談「脳協力して、一歩径5歳の経験を積んで、科学、言葉、ものづくり、使える教養はどう育つか」では、方・育て方、「上田惇生

■24年度からの始動

「ICT授業では、社会たる立場から、会員になると月に一度、会場ベースを利用して、さまざまな行事はじめ、さまざまな展開に期待していくべき」とができます。特別講じめ、さまざまな行事はじめ、さまざまな展開に期待していくべき

、通信技術）基礎実習）、本年度新設した「データリテラシー」、AI（人工知能）基礎を軸に、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に申請し、情報の分野を強化します。また、来年度は留学生の

さわもと・たけひろ 東京  
後期課程修了、博士（工学）  
大学助手を経て、2005年  
年より教養教育センター長。

理科大学卒業、同大学院博士  
若築建設株式会社、東京理科  
着任、19年より学長補佐、22

教養教育センターは、向上心を持つて日々新しいことに挑戦しています。来年度は第3回教養教育センター特別講演をはじめ、さまざまな取り組みを発信します。これから教養教育センターの活動に期待ください。

2024年  
(令和6年)

1月5日

金曜日